

成します。試験時間は6時間半で、そもそも時間内に図面と記述の全てを完成させること自体が大変な試験です。筆記試験からの数か月間、ひたすら一心不乱に学校の課題をこなしていたため、役立つかわかりませんが、私が気を付けた点を2つほど紹介します。

1つ目は、当たり前ですが作図を終わらせることです。製図試験は、綺麗な図面を描く試験ではなく、設計条件に適合した計画を行い、その計画を採点者に伝える試験です。作図が終わらなければ必ず不合格となりますし、多少は線や文字が荒くてなくても完成さえしていれば採点されるので、常に時間を意識して作図しました。作図時間の短縮方法は人それぞれだと思いますが、私の場合は道具は最小限にして持ち替えの時間を減らし、短い線はフリーハンドで描くなどの試行錯誤をしました。

2つ目は、手順の徹底です。計画検討（エスキス）時における建築可能範囲・高さの検討や各種条件の検討、作図時における柱・壁の書き込みや寸法・室名・植栽・什器などの書き込みなど、毎回同じ手順で検討・作図することを徹底しました。日頃から同じ手順とすることで、自分の進捗ペースが普段と比較し遅れていないか把握できるとともに、検討・作

図忘れの防止にも繋がると考えています。

最後に

いろいろと述べさせていただきましたが、私自身本試験の際は時間配分をミスしました。製図試験は午前11時から始まるため、時計とストップウォッチの時間がちょうど1時間ずれます。（時計が午後「1:00」の時、ストップウォッチは「2:00」となります。）その結果、試験の中盤で、実際は残り時間2時間のところを、まだ3時間あると勘違いしてしまい、それに気づいた終盤は、大慌てで図面を仕上げることになりました。試験当日は、何が起きるかわかりません。対策してもなお、最後の最後で時間管理を失敗しましたが、パニック時でも作図の漏れなく完成まで至れたことは、これまで積み重ねた対策のおかげだと思います。今後受験される皆様も、人それぞれに苦労があると思いますが、最後の最後まで諦めずに頑張ってください。

最後になりますが、職場の方々・業務に関わる様々な方々には、資格試験のために多大なご理解・ご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

【著者紹介】 森島 貴之（もりしま たかゆき）

平成25年鹿児島県に建築技師として入庁。現在、建築課営繕室にて、営繕工事の計画、技術基準等に係る職務に従事。

詰
碁

出題 土井 誠 八段

黒 先

[ヒント]
手順が大切な見本です。

[あなたの棋力は?]
5分……………初段
(解答は80頁)

詰
将
棋

出題 石田 和雄 九段

[ヒント]
詰将棋ならではの妙手順。

[あなたの棋力は?]
5分……………三段
10分……………初段
(解答は80頁)